

# 移民政策： 日米における大学生の意見

クリスチャン・マックグロスリンクレイソン  
アドバイザー

齋藤-アボット佳子教授

関根繁子教授

# 概要

- 研究の重要性
- 研究質問
- 研究背景
- 研究方法
- 結論と考察
- 研究の限界点と将来の研究
- 参考文献
- 謝辞

# 研究の重要性

- 岡山大学に留学していた時、移民政策を勉強した。
- そこで移民政策が継続的に変化している事に気がついた。
- アメリカ国民として、アメリカの移民政策に興味を持ち始めた。
- この研究で、移民政策についての日米の大学生の意識について調査し、大学生がどんな知識を持っているか、またどのような意見を持っているかについて追求してみたい。

# 研究質問

1. 日米の大学生は移民政策についてどのように認識しているか。
2. 大学生は移民政策についてどんな意見を持っているか。また、何が大学生に影響を与えているのか。

# 研究背景

- 移民政策の歴史 I. (1700 – 1918)
- 移民政策の歴史 II. (1939 – 1954)
- 現在の移民政策 I. (1960 – 現在)
- 現在の移民政策 II. (ビザ免除協定)
- 移民政策の教育
- 情報源の影響 I. (ニュースとソーシャルネットワーク)
- 情報源の影響 II. (家族と友達)

# 移民政策の歴史 I. (1700 – 1918)

## 18世紀の移民政策

### 日本

1853年にマシュー・ペリー海軍代将は日本で開国への交渉を要求した

最初の正式な移民政策

### アメリカ

奴隷の輸入を禁じた

## 第1次大戦時の移民政策

### 日本

重労働の要員として入国を認めた

移民の増加

### アメリカ

大規模な移民は移住者のための新たな規制と入国理の手続きにつながった

# 移民政策の歴史 II. (1939 – 1954)

## 第2次世界大戦時の移民政策

### 日本

外国人労働者とその家族は移民として扱われた

新しい移民政策

### アメリカ

移民および帰化手続きは国境管理や強制収容所のために指紋認証サービスを開始した

## 第2次世界大戦後の移民政策

### 日本

1952年に、アメリカの移民法を基に出入国管理及び難民認定法を設けた

移民に関する新規則

### アメリカ

1954年、「オペレーション・ウェットバック」でメキシコの出稼ぎ労働者を不法に拘束と強制送還した

# 現在の移民政策 I. (1960 – 現在)

出入国管理及び難民認定法(日本)

移民が移民または難民として入国できる規格

移民改革と管理法(アメリカ)

移民が国に入ることができる基準

- どちらの政策も似ている
- 入国する事が許可される移民とされない移民への違いがある



# 現在の移民政策 II. (ビザ免除協定)

## ビザ免除協定(日本)

この免除は各国々によって期間が異なる。

例えば、アメリカ人は90日間訪問する事ができるが、インドネシア人は15日間しか訪問する事ができない

## ビザ免除プログラム(アメリカ)

協定を結んだどの国の人々もビザ無しで同じ滞在期間入国する事ができる

認可された国の国民は一定の期間をビザなしで訪問できる

# 移民政策の教育

## 日本

- 移民政策に関する教育を行っていない

## アメリカ

- 移民政策は制限された範囲で教育を行っている
  - 社会問題について議論する
- 教育ための資料は移民政策センターとアメリカの移民協議会で利用可能である



# 情報源の影響 I. (ニュースと家族)

## 日本: ニュース等での論議

日本は日本人だけの国か？

- 移民は労働者数は増すが、日本人の仕事が減る
- 移民は国を多様化するが、日本は日本人だけの国である
- 移民にはツーリズムや財政的な利益がある

## 日本で家族の影響

- 家族で政治問題と社会問題を話す事は珍しい

## アメリカ: ニュース等での論議

アメリカは移民政策改革をリードしている国

- メキシコの国境の壁を建設する事に関する議論
- シリア人の難民が入国する事を許可するか、しないか

## アメリカで家族の影響

- 家族で政治問題と社会問題を話す事は普通である

# 情報源の影響 II.

## (ソーシャルネットワークと友達)

### ソーシャルネットワーク

- ソーシャルネットワークを通して様々な国の人と簡単につながる事ができる
- ソーシャルネットワークを通して色々な意見やアイデアを交換できる
- ハッシュタグを使い特定の社会問題に注目させる事ができる
- 日本よりアメリカの方がさかんに色々な意見やアイデアが交換されている

### 友達

- 自分が属する社会集団において「仲間からの圧力」はよくある事で、同じ意見を共有する事によって仲間意識が強くなる
- 親しい友人以外の友達同士で移民政策の経験を話す事はまれだ

# 研究方法

- 66人の大学生
  - 27人のアメリカの大学生
    - 16の女子学生
    - 9の男子学生
    - 2のその他学生
  - 39人の日本の大学生
    - 25の女子学生
    - 14の男子学生
- オンラインアンケート (Googleフォーム)
  - [英語のアンケート](#)
  - [日本語のアンケート](#)

# アンケート調査の結果

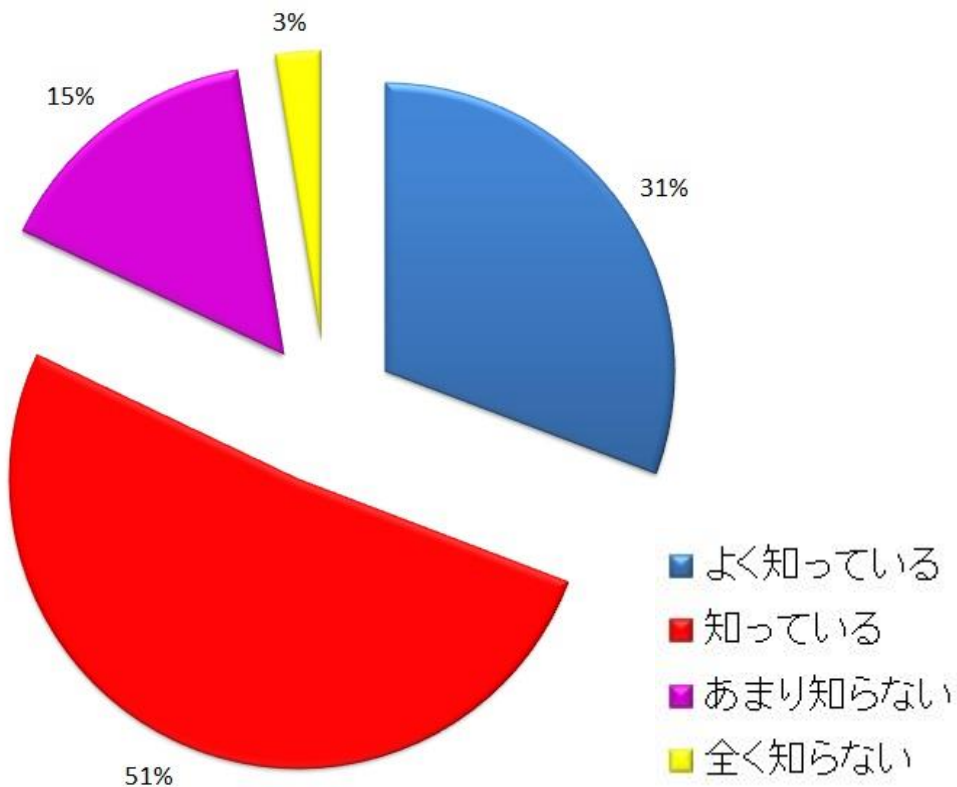
## 研究質問1:

---

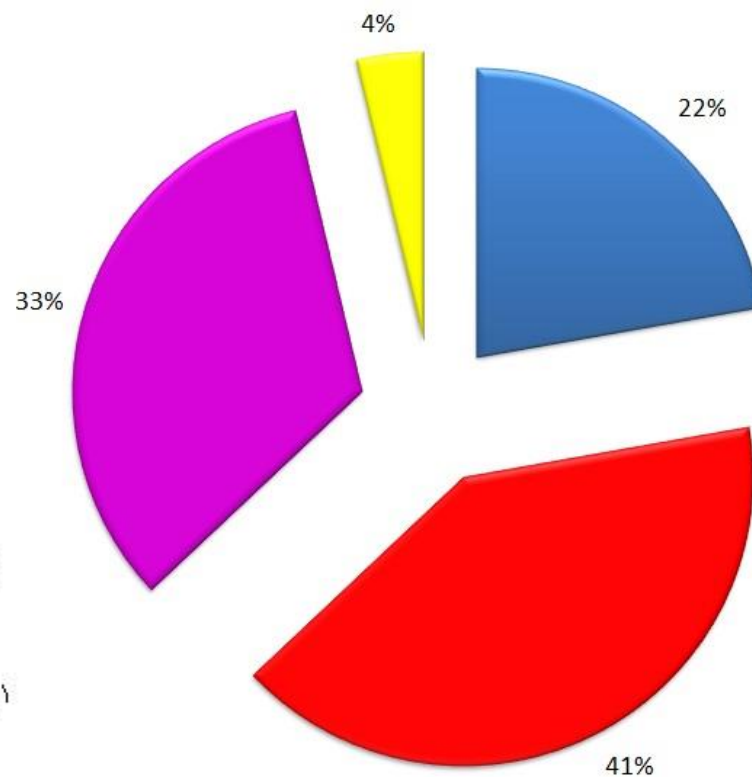
日米の大学生は移民政策についてどのように認識しているか。

# 移民と難民と亡命者の違いを知っていますか。

## 日本人



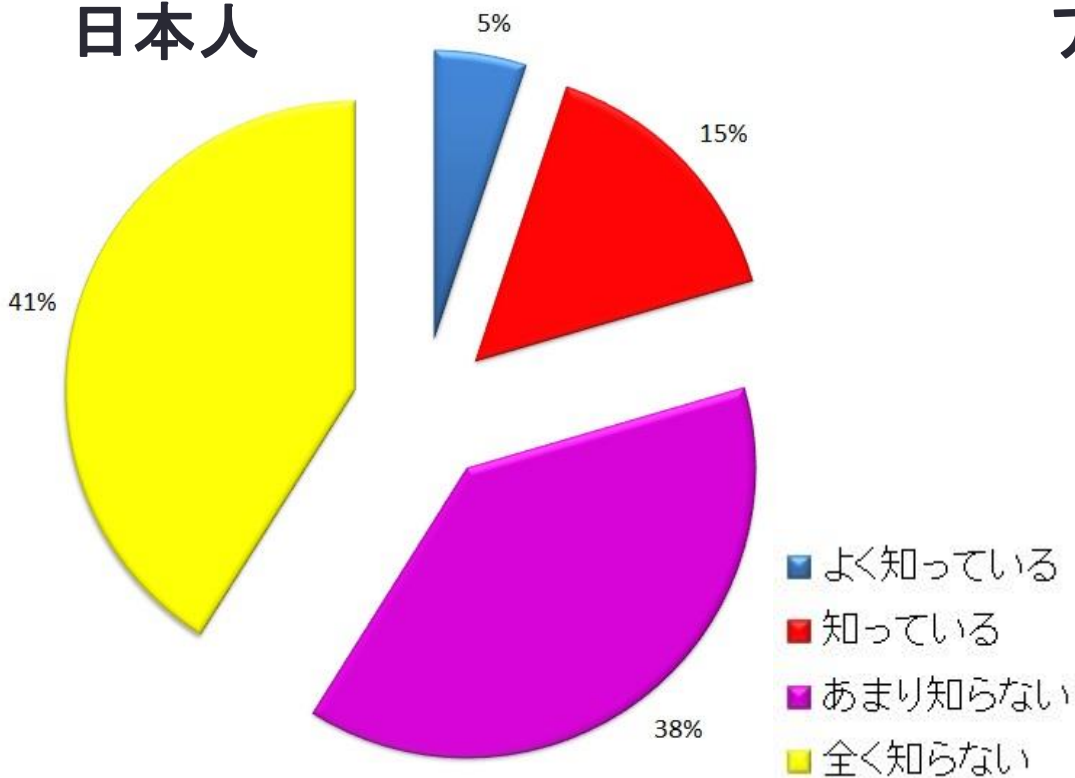
## アメリカ人



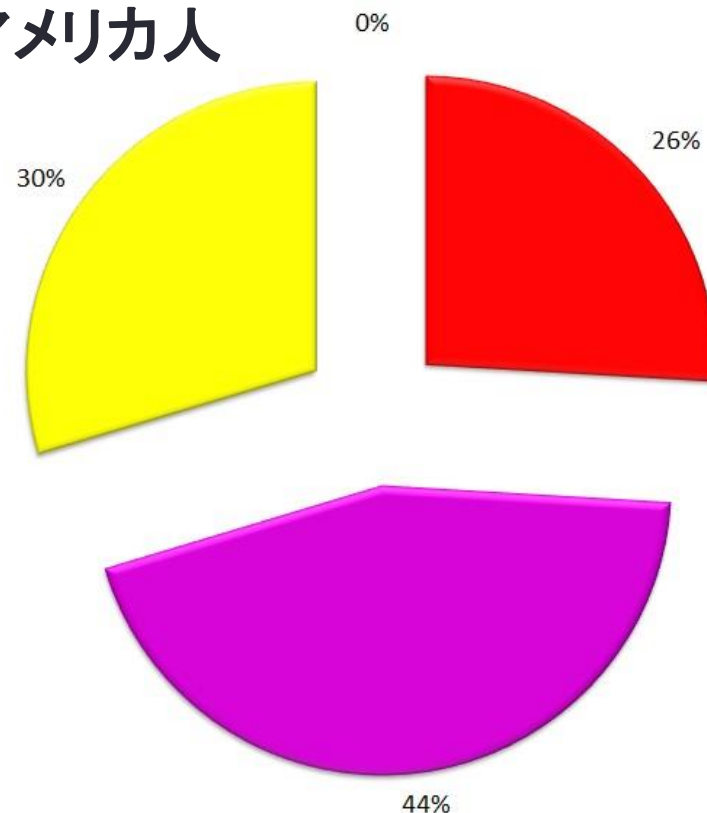
日本人の82%とアメリカ人の63%が違いを知っていると答えた。

# 「出入国管理及び難民認定法」がどんな法律か知っていますか。

## 日本人



## アメリカ人

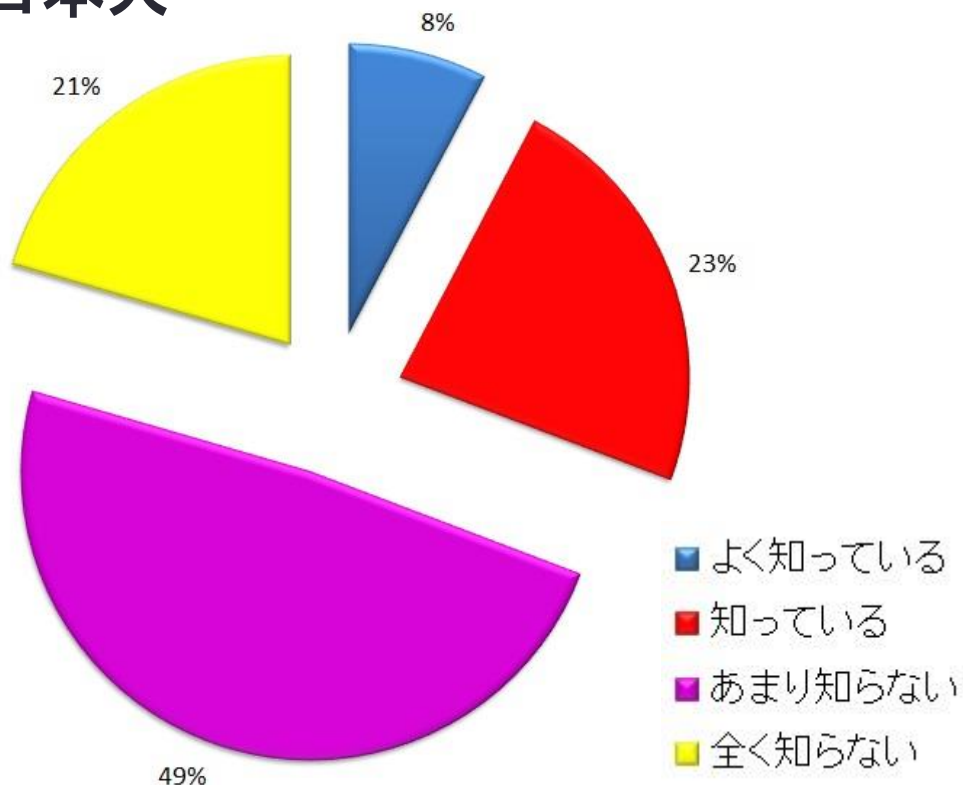


日本人の20%とアメリカ人の26%が政策を知っていると答えた。

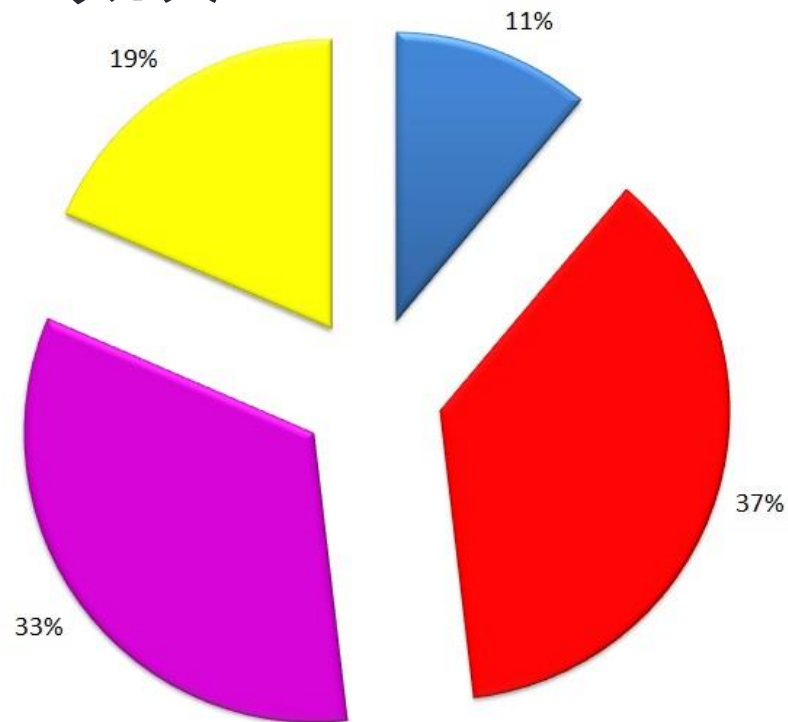


# 「ビザ免除措置」とはどんなものか知っていますか。

## 日本人

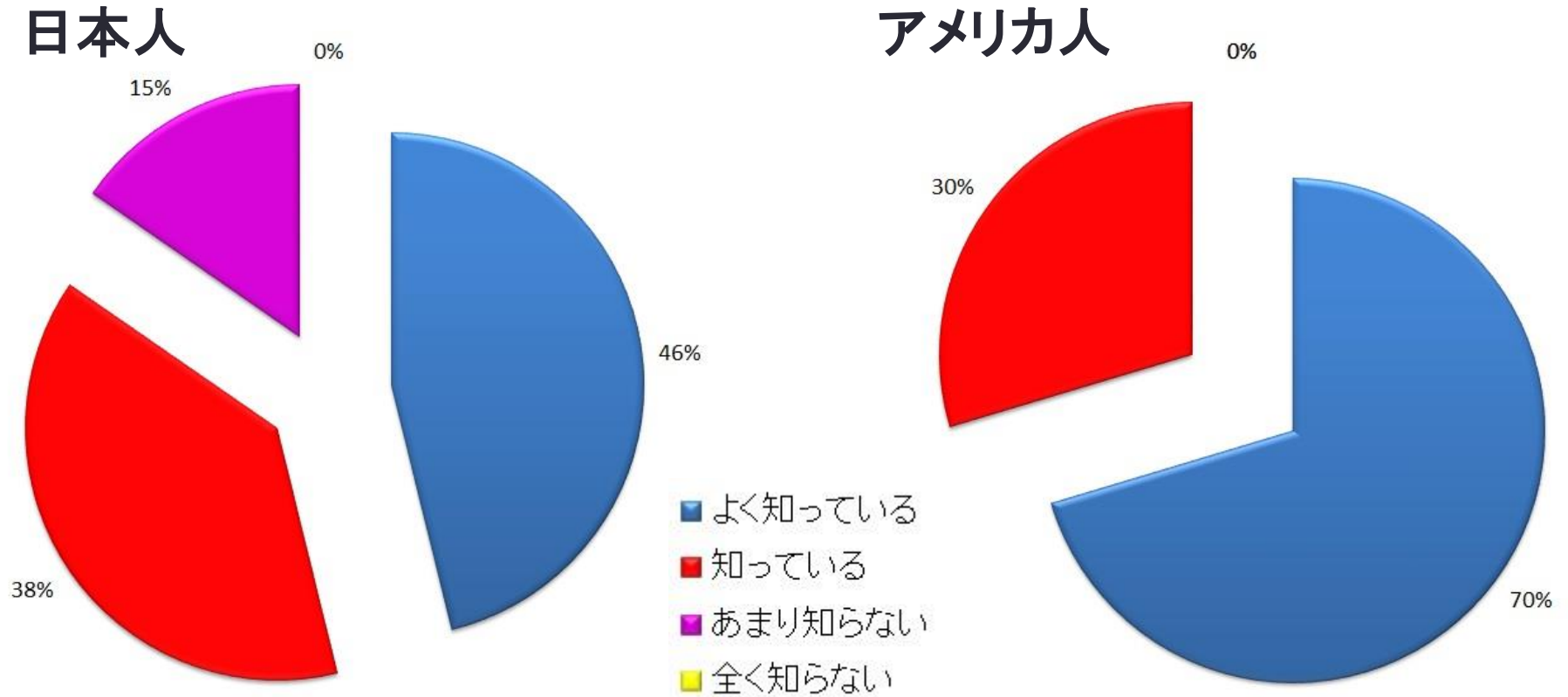


## アメリカ人



日本人の31%とアメリカ人の48%が「ビザ免除措置」を知っていると答えた。

# 「ビザ」とは何か知っていますか。



日本人の84%とアメリカ人の全部が「ビザ」とは何か知っている  
と答えた。

# 調査結果のまとめ

## 研究質問1:

- アメリカの大学生も日本の大学生は移民と難民と亡命者違いを知っていると答えた人は多かったが、日本人の方が20%知っている人がいた
- アメリカの大学生も日本の大学生も移民や難民に対する政策や法律はあまり知らない

# アンケート調査の結果

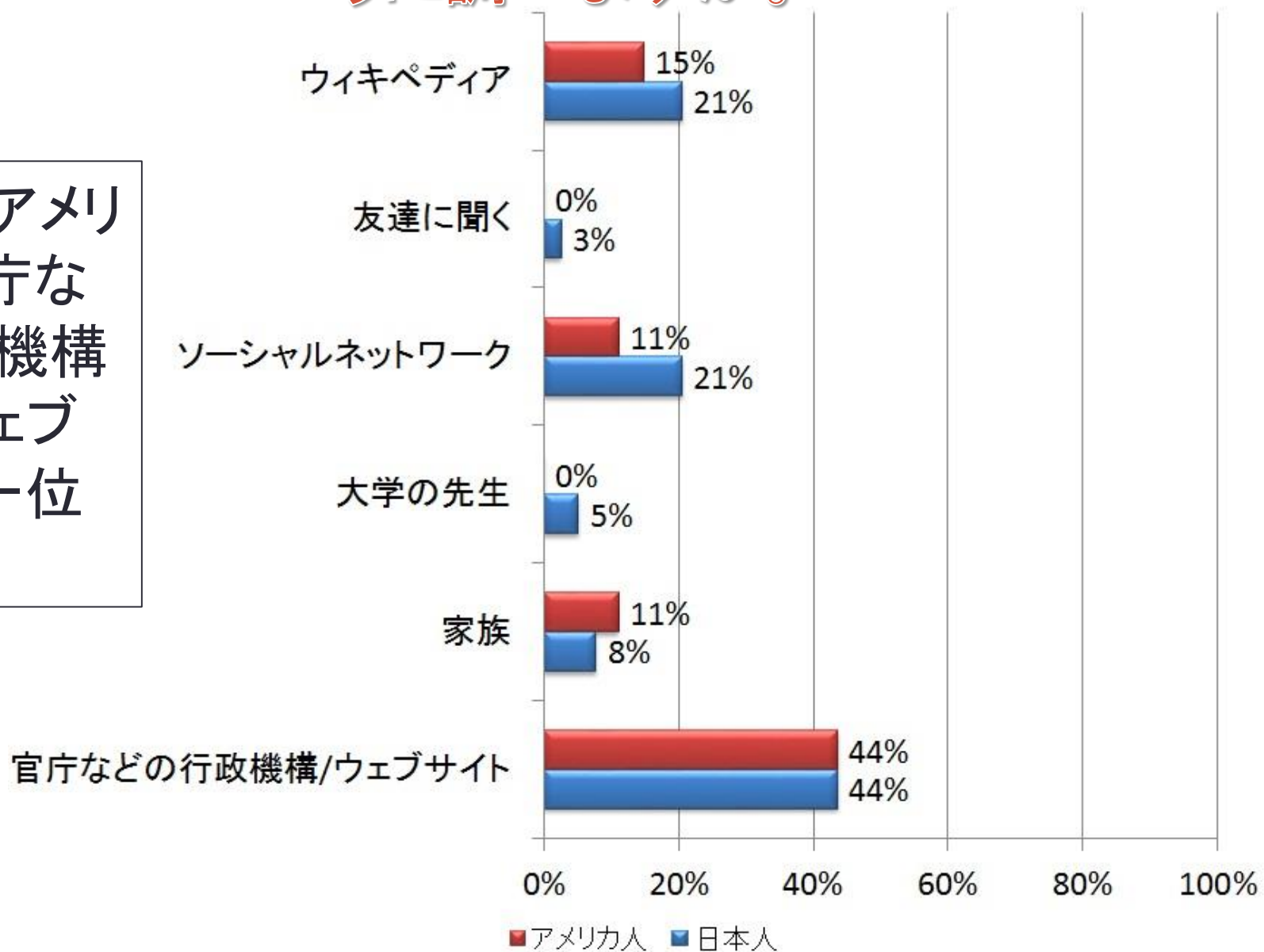
## 研究質問2:

---

大学生は移民政策についてどんな意見を持っているか。また、何が大学生に影響を与えているのか。

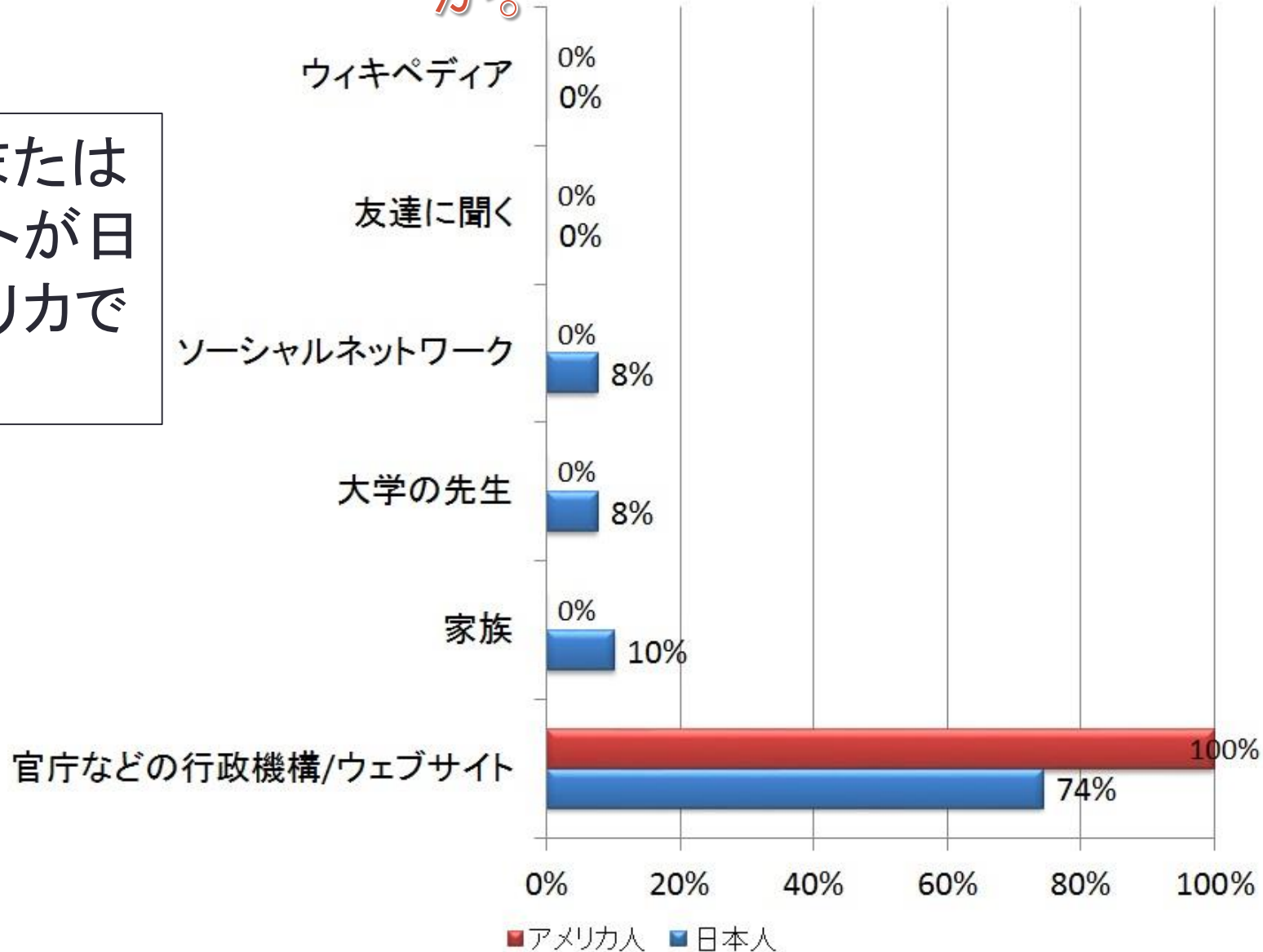
# もしあなたが移民政策について疑問がある時、どのように調べますか。

日本人もアメリカ人も官庁などの行政機構またはウェブサイトが一位だった



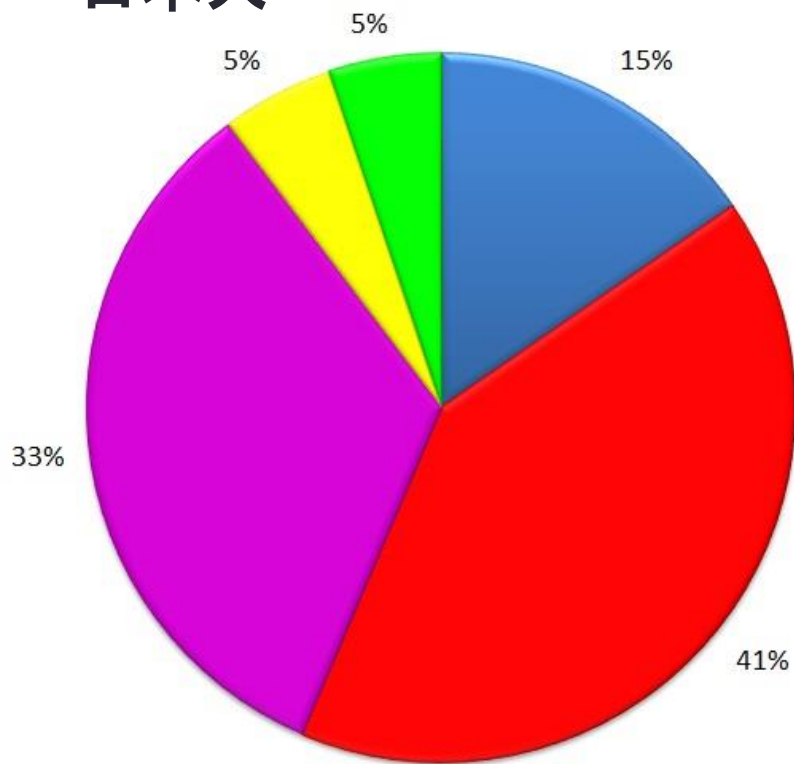
友達があなたの国に移民したいと考えています。あなたがその手助けをする際、最初に、どのように情報を調べますか。

行政機構またはウェブサイトが日本でもアメリカでも一番多い

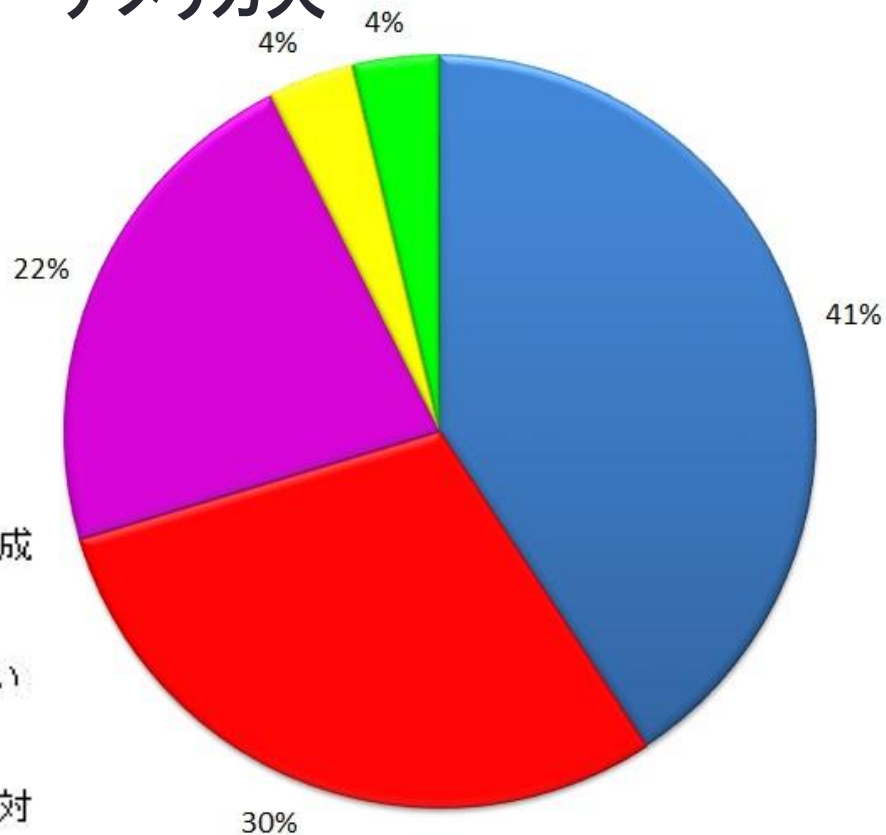


# 私の国の現在の移民政策は 「労働力人口を増やす。」

## 日本人



## アメリカ人

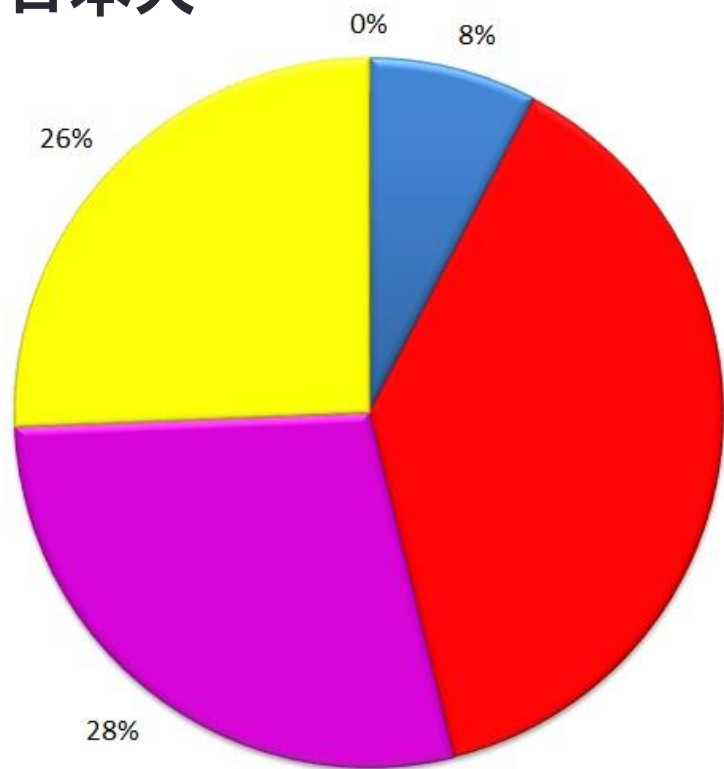


日本人の56%とアメリカ人の71%が「労働力人口を増やす」ことに賛成していると答えた

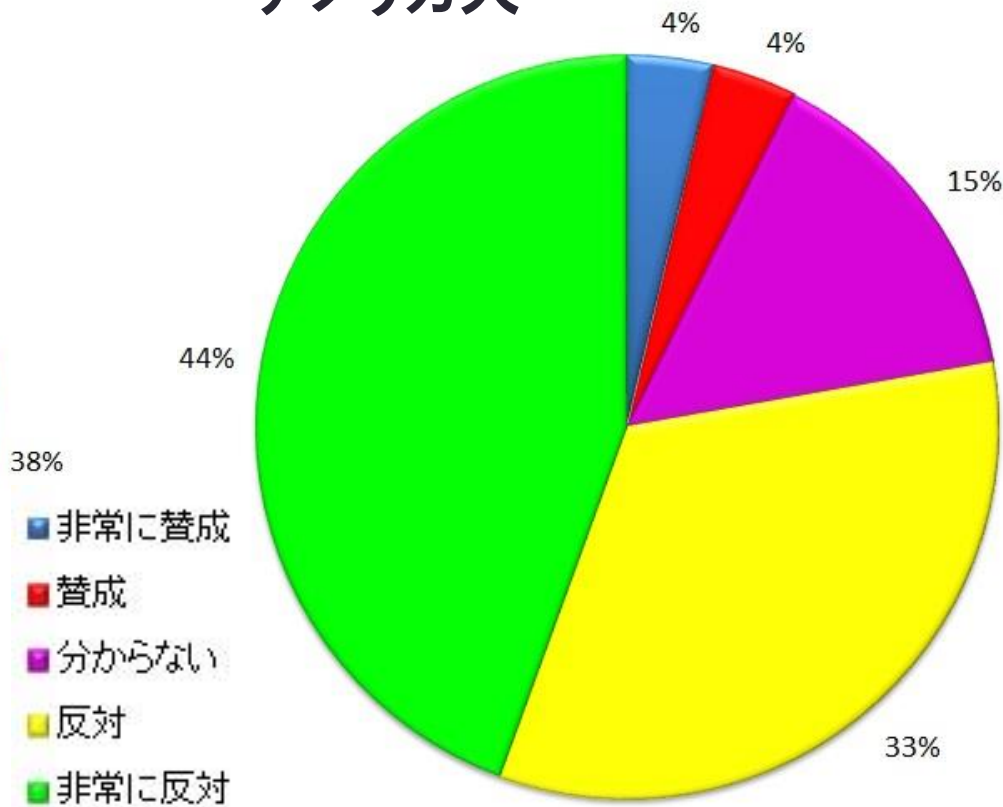


# 私の国の現在の移民政策は 「特定の国からの移民の数は制限させるべきである。」

## 日本人



## アメリカ人

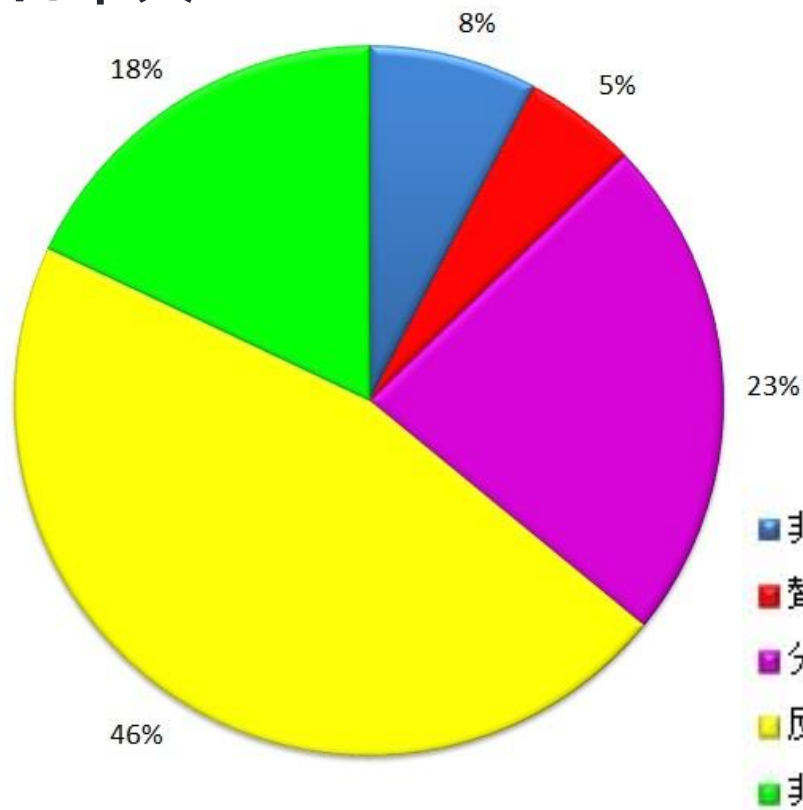


日本人の26%とアメリカ人の77%が制限するべきではないと答えた。



# 私の国の現在の移民政策は 「宗教的背景で移民の受け入れを拒否すべきではない。」

## 日本人

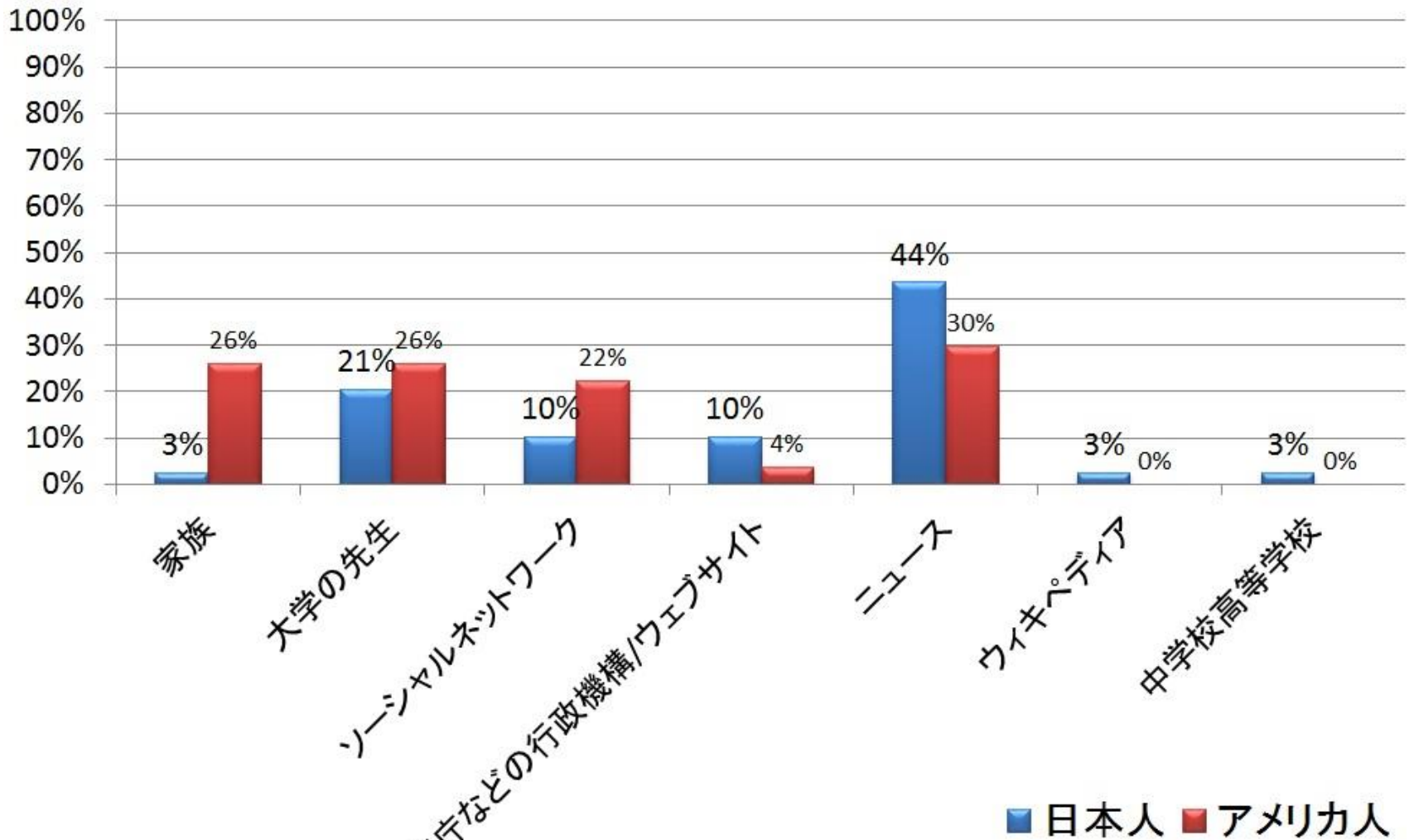


## アメリカ人



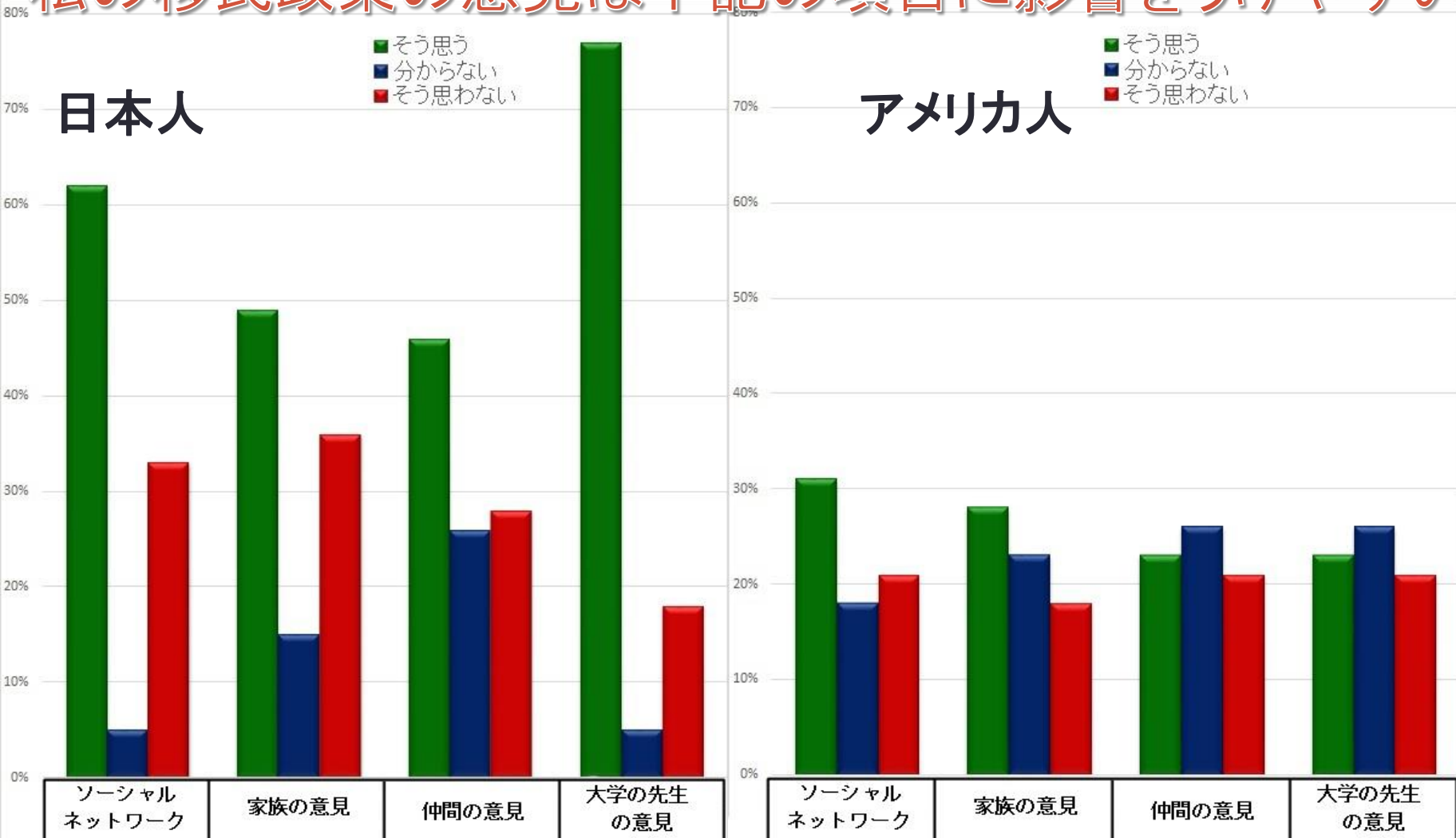
日本人の13%とアメリカ人の97%が宗教的背景で移民の受け入れを拒否すべきではないという意見

# 移民政策についてどこで一番学んだか。



日本人はニュースが一番で次に大学の先生、アメリカ人はニュース、家族、大学の先生、ソーシャルネットワーク等があげられた。

# 私の移民政策の意見は下記の項目に影響を受けやすい。



日本人の62%とアメリカ人の44%がソーシャルネットワークが自分達の意見に影響していると答えた

日本人の場合は大学の先生の影響が一番影響がありその次にSSNがあげられた。アメリカの場合は特にこれといった物はなくしいていえばSSNに影響されやすい。

# 調査結果のまとめ

## 研究質問2:

- 両国の学生は政策や法律に関して調べる際は官庁などの行政機構またはウェブサイトを利用する
- 移民政策については日本の学生は大学の先生やソーシャルネットワーク、ニュースから影響されるが
- アメリカの学生はニュースやソーシャルネットワークから影響される
- アメリカの学生は宗教で移民の受け入れを拒否すべきではないという姿勢が強いが、日本の学生はこの点には支持していない

# 結論と考察

- 両国の学生はあまり移民政策とビザ免除措置について知らないのでせめて高校のカリキュラムにいれて意識を高めるべきだ。
- 日本とアメリカの学生はソーシャルネットワークや、ニュースや、家族や、友達から影響を受けるため、正しい情報の入手方法と判断をする教育が必要。
- アメリカの学生は、民族や宗教を基にした政策をしてはいけないという姿勢が強い。この点の日本での意識が低いのは日本は単一民族であるからかもしれない。グローバル社会の今日日本での多文化社会への理解が大事。

# 研究の限界点と将来の研究

- 研究の限界点
  - 過半数のアメリカの大学生はカリフォルニア州立大学の学生
  - 少人数の参加者
- 繊細な社会問題
  - 日本の大学生とアメリカの大学生は移民と移民政策が繊細な問題だと思っているかもしれない
  - いくつかの問題は、本音で答えてもらえたかがわからない
- 大規模な調査
  - アメリカと日本の大学にアンケートをくまなく配りたい
  - 様々なグループの意見を比較したい

# 参考文献

- Chung, E. (2010). *Immigration and citizenship in japan*. New York, New York: Cambridge University Press.
- DeSipio, L., & Garza, R. (2015). *US immigration in the twenty-first century: Making Americans, remaking America*. Boulder, Colorado: Westview Press.
- Douglass, M., & Roberts, G. S. (2000). *Japan and global migration: Foreign workers and the advent of a multicultural society*. London: Routledge.
- Estimates of the Unauthorized Population for States. (n.d.). Retrieved October 7, 2015, from <http://data.cmsny.org/>
- Exemption of Visa (Short-Term Stay). (n.d.). Retrieved December 1, 2015, from [http://www.mofa.go.jp/j\\_info/visit/visa/short/novisa.html](http://www.mofa.go.jp/j_info/visit/visa/short/novisa.html)
- Hernández, K. L. (2006). The Crimes and Consequences of Illegal Immigration: A Cross-Border Examination of Operation Wetback, 1943 to 1954. *The Western Historical Quarterly*, 37(4), 421.
- Hing, B. O. (1993). *Making and remaking Asian America through immigration policy, 1850-1990*. Stanford, CA: Stanford University Press.
- Hoffman, L. (2012, July 16). How Family Communication Can Influence Our Political Identities. *Huffpost College*. Retrieved February 19, 2016, from [http://www.huffingtonpost.com/lindsay-hoffman/how-family-communication-\\_b\\_1664970.html](http://www.huffingtonpost.com/lindsay-hoffman/how-family-communication-_b_1664970.html)
- Imamura, A. E. (1990). *The Japanese Family* (Unpublished doctoral dissertation). Columbia University, New York City.
- Immigration Reform and Control Act of 1986, 3359 U.S.C. § 99-603 (1986).
- Japanese Newspapers : 日本の新聞. (n.d.). Retrieved February 19, 2016, from <http://www.w3newspapers.com/japan/>



# 参考文献

- Kashiwazaki, C., & Akaha, T. (2006). Japanese Immigration Policy: Responding to Conflicting Pressures. *The Online Journal of the Migration Policy Institute*. Retrieved January 3, 2016, from <http://www.migrationpolicy.org/article/japanese-immigration-policy-responding-conflicting-pressures>
- Mallaby, S. (1998). In Asia's Mirror: From Commodore Perry to the IMF. *The National Interest*, (52), 13–21. Retrieved from <http://www.jstor.org/stable/42897100>
- Mass Immigration and WWI. (n.d.). Retrieved December 28, 2015, from <https://www.uscis.gov/history-and-genealogy/our-history/agency-history/mass-immigration-and-wwi>
- Social Networking Fact Sheet. (2013). Retrieved February 11, 2016, from <http://www.pewinternet.org/fact-sheets/social-networking-fact-sheet/>
- Today's Top Headline: 111 Million Americans go on the Web for Daily News. (2013, November 1). Retrieved January 30, 2016, from <http://www.nielsen.com/us/en/insights/news/2013/todays-top-headline-111-million-americans-go-on-the-web-for.html>
- U.S. Immigration Before 1965. (n.d.). Retrieved January 1, 2016, from <http://www.history.com/topics/u-s-immigration-before-1965>
- Visa Information. (n.d.). Retrieved January 14, 2016, from <http://www.jnto.go.jp/eng/arrange/essential/visa.html>
- Visa Waiver Program. (n.d.). Retrieved November 3, 2015, from <https://www.cbp.gov/travel/international-visitors/visa-waiver-program>
- Weiner, M. (1994). *Race and migration in Imperial Japan*. London: Routledge.
- Wohns, A. (2013, November 20). Calling all gaijin! immigration reform for Japan. *Harvard International Review*. Retrieved October 11, 2015.
- Wong, K. (n.d.). Top Japanese Social Media Networks [Web log post]. Retrieved February 11, 2016, from <http://blog.btrax.com/en/2015/04/27/2015-top-japanese-social-media-networks-2/>



# 参考文献

- Yamanaka, K.. (1993). New Immigration Policy and Unskilled Foreign Workers in Japan. *Pacific Affairs*,66(1), 72–90.
- Zong, J., & Batalova, J. (2015, February 26). Frequently Requested Statistics on Immigrants and Immigration in the United States. Retrieved December 20, 2015, from <http://www.migrationpolicy.org/article/frequently-requested-statistics-immigrants-and-immigration-united-states>
- 日本法令外国語訳データベースシステム - [法令本文表示] - 出入国管理及び難民認定法. (n.d.). Retrieved October 20, 2015, from <http://www.japaneselawtranslation.go.jp/law/detail/?id=1934&vm=&re=>
- 平成25年 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査. (2014). 総務省 情報通信政策研究所. Retrieved February 16, 2016, from [http://www.soumu.go.jp/iicp/chousakenkyu/data/research/survey/telecom/2014/h25mediariyou\\_1sokuhou.pdf](http://www.soumu.go.jp/iicp/chousakenkyu/data/research/survey/telecom/2014/h25mediariyou_1sokuhou.pdf)

# メディアリソース

Education. (n.d.). Retrieved April 19, 2016, from  
<http://www.migrationpolicy.org/topics/education>

# 謝辞

- 齋藤-アボット佳子教授
- 関根繁子教授
- 友達と同級生と  
特に
  - 平井絢音
  - 角山 怜祐
  - 三宅 香菜子